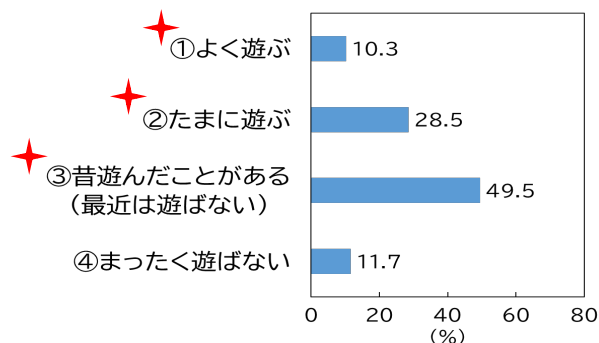


朝来市の生物多様性の現状と課題について

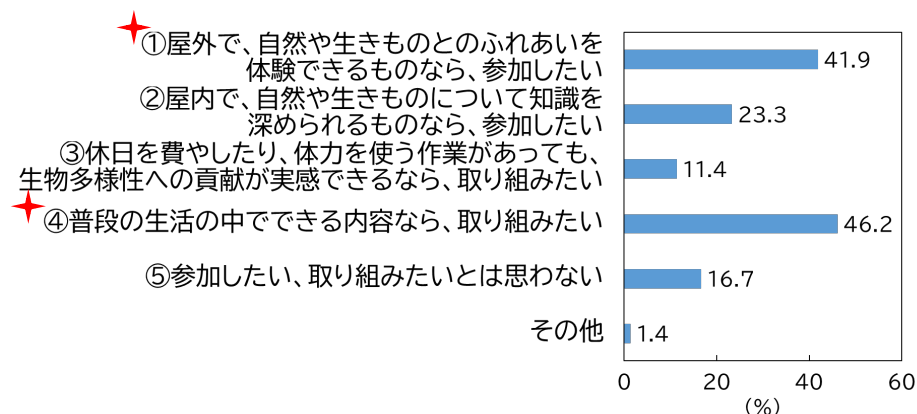
①「アンケート調査」で把握した現状と課題

●中学生アンケート

【問9】あなたは、朝来市の自然環境（森や川など）で遊ぶことはありますか？
（一つだけ回答 n=214）



【問12】あなたは、生物多様性に関するイベントや活動について、どのような場合に参加したい、取り組みたいと思いますか？
（制限なし複数回答 n=210）



- 約90%の中学生が、自然の中で遊んだ経験があったり、今でも遊んでいる状況である。
- 実際のイベントや活動に対しては、約75%が参加に前向きであるが、無理のない範囲で取り組みたいと考える割合も約45%ある。

潜在的には自然への興味が培われている中学生が多いと考えられたことから、それを後押しする気づきや機会を提供していくことが重要

①「アンケート調査」で把握した現状と課題

●市民アンケート

【回答者状況に係る留意点】

・回答者の約60%が60歳以上

【問9】以下に挙げる朝来市の自然の問題について、どのように思いますか？それぞれの問題について、①～⑤のいずれかで回答ください。

①非常に問題だと思う ②問題だと思う ③あまり問題とは思わない
④問題とは思わない ⑤わからない、知らない

★ ヤマビル・マダニによる咬傷やハチ・クマなど危険生物との遭遇のリスク(n=580)

★ シカやイノシシなど、一部の野生動物が増え過ぎたことによる農地や森林への影響(n=574)

★ 人の手が入らなくなったことによる、里山や田畑などの荒廃(n=576)

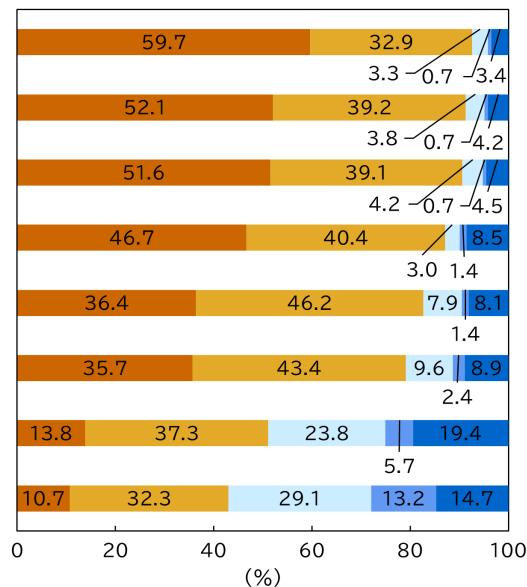
アライグマやオオキンケイギクなど、外来生物の増加(n=574)

野外へのごみの投棄、化学物質の放出による野生生物への悪影響(n=571)

地球温暖化や異常気象による、野生生物への影響(n=574)

開発行為による野生生物の生息・生育地(農地など二次的自然も含む)の減少(n=542)

野生生物の過剰な捕獲・採取(n=570)



【問16】朝来市の自然や生物多様性を守るために特に力を入れるべき取り組みは、どのようなものですか？(3つ以内で回答 n=564)

★ シカやイノシシなど、野生動物による生態系への影響や、農業被害の軽減

★ 里山や農地周辺など、身近な自然環境の保全

生態系に影響を与える外来生物への対策

オオサンショウウオやコウノトリなど、希少な野生生物の保全

段ヶ峰や円山川など、すぐれた自然環境の保全

トノサマガエルやホタルなど、身近で見られる野生生物の保全

公園など、緑地の維持管理における生物多様性への配慮

野生生物の生息状況調査など、生物多様性に関する調査研究

生物多様性や自然の恵み(生態系サービス)の普及啓発に向けた、環境教育や自然体験の促進

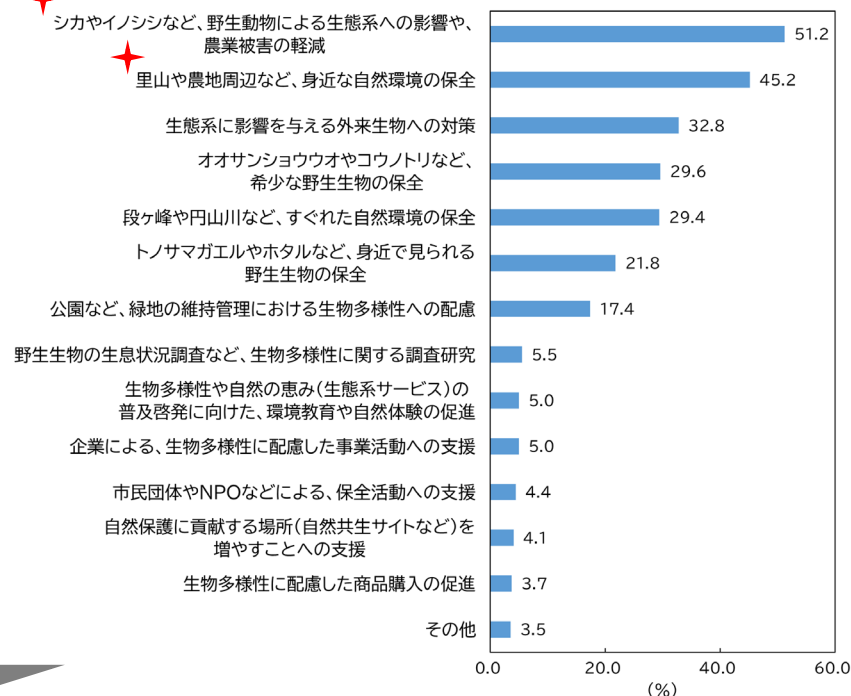
企業による、生物多様性に配慮した事業活動への支援

市民団体やNPOなどによる、保全活動への支援

自然保護に貢献する場所(自然共生サイトなど)を増やすことへの支援

生物多様性に配慮した商品購入の促進

その他



- 身近な環境である農地や里山への関心が高く、なかでもシカやイノシシの影響に対して高い課題感がある。
- ヤマビル・マダニの増加など、直接身体的に影響があるものへの恐怖心も強い。それらと比べると、すぐれた自然環境や野生生物への課題感は低い傾向にある。

豊かな自然環境や生物多様性の価値に気づいてもらうための普及啓発が重要

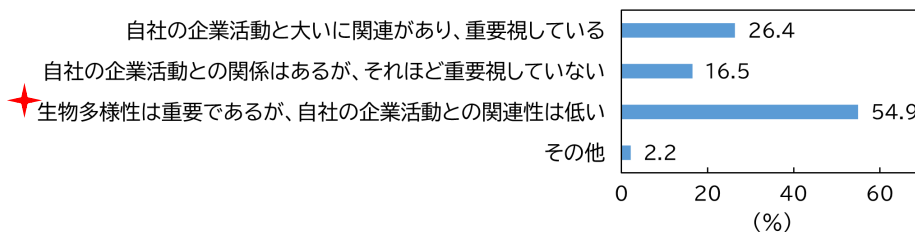
①「アンケート調査」で把握した現状と課題

●事業者アンケート

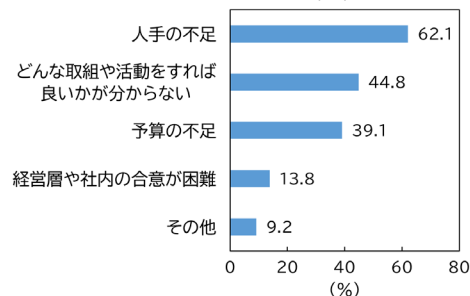
【回答者状況に係る留意点】

- ・回答者の約60%が、従業員9人以下の事業所

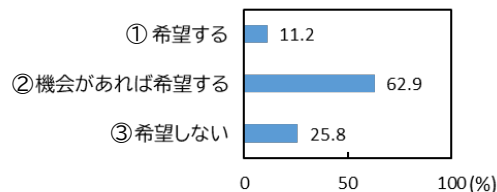
【問2】貴事業所の事業活動と生物多様性の保全への取組との関連性について。(一つだけ回答 n=91)



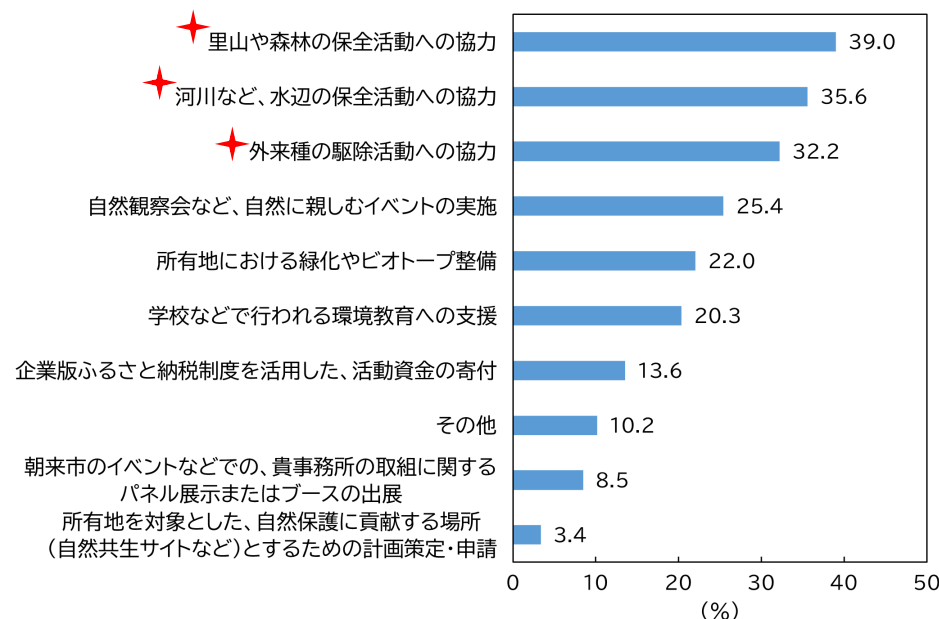
【問10】貴事業所における生物多様性の保全に取り組むにあたって課題となる事項について。(制限なし複数回答 n=87)



【問12】貴事業所で生物多様性や自然環境の保全に取り組む場合の朝来市との連携について。(一つだけ回答 n=87)



【問13】(問12で①、②と回答した事業者のみ)貴事業所で朝来市との連携が可能な取組について。(一つだけ回答 n=59)



- 生物多様性の保全に取り組むにあたっての障壁は、人手不足・活動方法・予算不足である。
- 朝来市と連携した生物多様性保全の取組に対しては約75%の事業所が希望しており、取組への意欲が無いわけではなく、特に保全活動や駆除活動などへの関心が高い。

事業者と市の連携の仕組みによる参画の後押しが重要

② 「ヒアリング」で把握した現状と課題

●地域自治協議会

《① 山や森に関する課題》

- 広葉樹林の減少
- 管理の放棄
- ニホンジカの増加
- ヤマビルの増加

《② 河川に関する課題》

- 改修による河川環境の変化
- 河川にすむ生きものの減少
- 河川敷の植生変化
- 水量の減少

《③ 農地や身近な場所に関する課題》

- 耕作放棄地の増加
- 外来植物やつる植物の繁茂

《④ 自然とのつながりの希薄化》

- 子どもが自然と触れ合える機会の喪失
- 山菜など“自然のめぐみ”の利用機会の減少

《⑤ 活動に対して求める支援》

- 観察会の講師などの人材紹介
- 企画の支援

② 「ヒアリング」で把握した現状と課題

●市民団体

《① 市民の意識に関する課題》

- 市民との自然に対する意識のギャップ

《② 活動場所に関する課題》

- ヤマビルの増加
- 森の管理不足
- 気軽に利用できる山や川の把握

《③ 保全したい生きものに関する課題》

- ササユリの減少
- オオサンショウウオの保全対策不足

《④ 活動時に感じた自然に関する課題》

- シカの増加による植生の変化

《⑤ 運営面の課題》

- 活動に対する費用の援助
- 人材の不足
- 活動に伴う手続きの煩雑さ

《⑥ 活動に対して求める支援》

- 活動に対する助言
- 地元との協力、関係構築の補助
- 活動場所を提供してくれる地権者の紹介や協力者との関係構築
- 専門的な知識の講習
- 「小さな自然再生」の取り組み

② 「ヒアリング」で把握した現状と課題

●有識者

《① 山や森に関する課題》

- ニホンジカによる食害の深刻化、植生改変
- 樹林内の植生遷移の進行
- 埋土種子の寿命
- 林業や里山管理の衰退に伴う環境の変化

《② 草地や農地に関する課題》

- 草原および草原生植物の減少
- 耕作放棄地の拡大
- 水田の圃場整備、乾田化

《③ 河川に関する課題》

- 改修による河川の連続性の消失
- 河川の水量の不安定化

《④ 外来生物に関する課題》

- アライグマの分布拡大と在来種への悪影響
- 侵略性の高い外来生物の侵入